

出題分析			
試験時間	60分	配点	50点
		大問数	6題
分量 (昨年比較)	[減少 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 増加]	難易度変化 (昨年比較)	[易化 <input type="checkbox"/> 同程度 <input checked="" type="checkbox"/> 難化]
<b>【概評】</b> 大問は昨年から1題増加して6題となり、小問数も1問増えて42問となった。出題形式は選択式問題30問と語句記述問題12題だった。〔I〕は例年通りオリエント史、最後の大問も西洋美術史が出題された。時代は古代から現代まで幅広かったが、地域は東アジア・西アジア・ヨーロッパと限定的であった。年代や細かい用語が問われた問題もあり、正誤判定も細かい事項が問われた。昨年比で難化したと判断した。			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	古代エジプト	設問1は難問。マスタバは11年ぶりの出題。長方形で、貴人の墓として建造された。設問4、アホルスはオシリスとイシスの子とされ、ウのネフェルティティはアメンヘテプ4世の妃。	やや難
II	北宋と周辺国家	設問2はアの李元昊に飛びつきがちだが、黄巢の乱と西夏建国の間には150年ほどの差があることに気づきたい。ウ、拓跋珪は北魏の建国者。設問3と6、漢字に注意。設問7は細かい。	標準
III	イスラーム世界の宗教施設	設問4、古い順で正しいものを選ぶ問題。大まかな近代オスマン帝国の推移を捉えたい。設問7、第二次石油危機はイラン＝イスラーム共和国による石油国有化が原因。モサッデグの石油国有化宣言は1950年代。設問8、エジプト＝トルコ戦争の結果、ムハンマド＝アリーはエジプト総督の世襲を認められたが、形式上はオスマン帝国の宗主権下におかれた。ウラービー運動後に事実上イギリスの保護国となったが、正式に保護国となったのは第一次世界大戦勃発後。	標準
IV	7～9世紀の東西ヨーロッパ	設問1ーエ、フワーリズミーはアッバース朝に、イブン＝シーナーはブワイフ朝に仕えた。設問2、古い順で「3番目に当たるもの」を選ぶ問題。2択まで絞れるものの、小ピピンの即位と後ウマイヤ朝の成立の年代はやや細かい。	標準

設問別講評			
V	西洋近現代史	設問 2ーイ, 新大陸へ連れていかれた黒人奴隷は 1000 万以上に達し, アフリカの社会的・経済的発展が阻害された。エ, ウィルバーフォースは 1807 年の奴隷貿易禁止に貢献した。設問 5, イングランド銀行国有化はアトリー政権の出来事。問 6ーア, 三圃制はノーフォーク農法が導入されて以降, 衰退した。設問 7ーア, アーヘン和約がオーストリア継承戦争の講和条約であることは細かい。設問 8ーア, アメリカは金本位制から離脱し, 管理通貨制度へ移行した。ウ, ブルムは左派。エ, イタリアでムッソリーニがローマ進軍を敢行したのは世界恐慌前。他の選択肢の明らかな誤りから, イが正文と見なせそうだが, 教科書によって表現に差はあるものの, 実際にはマクドナルドは挙国一致内閣を作った後に除名されているため, 誤文と見なせる。よって, この設問は正答なしと判断した。設問 13, 古い順で正しいものを選ぶ問題。第二次世界大戦までの流れは覚えておきたい。	やや難
VI	西洋美術史	設問 1, イエスが磔刑になった場所を答えればよい。設問 2, レンブラント・ミルトンは 17 世紀の人物。設問 3, アはミケランジェロ「天地創造」, イはブリュッセル「バベルの塔」, ウはミレー「晩鐘」, エは「牛乳を注ぐ女」。設問 4, エの古典主義は今年の試験でも出題された。設問 5ーア, サンティアゴ＝デ＝コンポステーラには聖ヤコブの墓があるとされている。	標準

#### 合格のための学習法

正誤文判定問題の難易度が上がり, 教科書学習を軸に用語集での細かな事項を拾っていく学習が求められる。また美術史の問題では図も出題されるので, 資料集での学習も必要である。例年に比べると時系列を問う問題が多くみられた。時系列を問う問題は他学部でも出題される。正誤判定問題の訓練も兼ねて, 他学部の問題も積極的に解いていきたい。